

## 心をつなぐおいしい食育

3月3日（土）、朝ごはん運動推進本部と子どもの生活リズム向上推進委員会が主催した「朝ごはん運動推進学習会」が鶴遊館で開催され、約350人の町民が参加しました。

講師として宮島則子さん（東京都荒川区立ひぐらし小学校次席栄養士）を招き、ひぐらし小学校での食育への取り組みについて講演をしていただきました。

食品会社や大学の協力を得ながら、積極的に行っている食育活動の内容に、参加者はうなずきながら興味深く聞き入っていました。

「食はコミュニケーションの場、子どもはきずなを求めています」と話す宮島さん。この講演を聞いた方から、食育への関心が、町全体へ広がっていくことを期待します。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場企画課広報国際係までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線264)



△たくさんの町民の方が集まり会場は満席でした。

## 認定農業者で頑張る農業！

3月7日（水）、鶴田町認定農業者等協議会（中村誠悦会長）の総会が豊明館で行われ、約40人の認定農業者の方々が参加しました。

始めに平成18年度の事業報告・収支決算報告や平成19年度の事業計画（案）の審議をし、会員たちは、これからの厳しい農業に対処するため、共にがんばることを誓い合いました。

また、協議会で1月に実施した稲わらに関するアンケートの結果、稲わらを焼却処理している農家が、まだ数多くあることが明らかになりました。そのことを踏まえて、環境にやさしい農業を推進するため、総会の最後には「稲わら焼却防止」の宣言をしました。



△当町の認定農業者数は220人、農業発展のために頑張ってます。

## AEDの使用で高まる生存率

3月12日（月）、13日（火）の2日間、鶴田消防署主催の「普通救命講習」が鶴田中学校体育館で行われ、2年生146人が応急手当の方法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法を学びました。

始めにDVDを見ながら、応急手当の方法と救命処置を学習し、その後は8つのグループに分かれて、署員の指導の下、1人ずつ心肺蘇生とAEDを使用した実践練習を行いました。講習を受けた安田洸周くんは「難しかったけど覚えれば役に立つので、しっかり覚えたいです」と話してくれました。この講習で生徒たちは救急処置の大切さを学びました。



△真剣な表情で訓練する生徒たち救急処置の大切さを実感



△加藤みつよ会長から教育長へぞうきんが手渡されました。

## 母子寡婦福祉会ぞうきん寄贈

3月12日（月）、鶴田町母子寡婦福祉会（加藤みつよ会長）から教育委員会へ手縫いのぞうきん700枚が寄贈されました。

この日、加藤みつよ会長と小野初枝さんが「子どもたちに使って欲しい」と心の込もった手縫いのぞうきんを小笠原教育長に手渡しました。ミシンで縫ったぞうきんは固くて絞りにくいということから、毎回手縫いのぞうきんを寄贈くださっています。

このぞうきんは町内の全小・中学校へ配られ、掃除の際に使用されます。福祉会がぞうきんの寄贈を始めてから今年でちょうど20年目となります。毎年ありがとうございます。

## 気を付けていってらっしゃい

3月17日（土）、第23回中学生大使フッドリバー訪問団21人が、当町と姉妹都市であるオレゴン州フッドリバー市へ出発しました。

午前6時30分から国際交流会館ホールで結団式が行われ、保護者や中学校の先生方が集まり、訪問団員を激励しました。生徒を代表して長内亜由美さんは「英語でたくさんのコミュニケーションをとりたいと思います。一回り大きくなったわたしたちを見せることができるようにがんばります」と元気に抱負を述べました。訪問団はフッドリバーの中学校や施設を訪問したり、ホームステイをしながら、アメリカの文化や習慣に触れてきます。



△結団式の最後にはリンゴジュースで激励の乾杯をしました。